

平成18事業年度

決 算 報 告 書

自：平成18年4月 1日

至：平成19年3月31日

国立大学法人豊橋技術科学大学

# 平成18年度 決算報告書

国立大学法人 豊橋技術科学大学

(単位:百万円)

区分	予算額	決算額	差額 (決算-予算)	備考
収入				
運営費交付金	3,835	3,835	0	
施設整備費補助金等	63	63	0	
船舶建造費補助金	0	0	0	
施設整備資金貸付金償還時補助金	0	0	0	
補助金等収入	51	63	12	(注1)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	28	28	0	
自己収入	1,386	1,493	107	
授業料, 入学金及び検定料収入	1,312	1,356	44	(注2)
附属病院収入	0	0	0	
財産処分収入	0	0	0	
雑収入	73	137	64	(注3)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	1,162	1,374	212	(注4)
長期借入金収入	0	0	0	
貸付回収金	0	0	0	
承継剰余金	0	0	0	
旧法人承継積立金	0	0	0	
目的積立金取崩	40	40	0	
計	6,565	6,896	331	
支出				
業務費	4,611	4,462	149	
教育研究経費	4,611	4,462	149	(注5)
診療経費	0	0	0	
一般管理費	650	598	52	(注6)
施設整備費	91	91	0	
船舶建造費	0	0	0	
補助金等	51	63	12	(注7)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	1,162	1,287	125	(注8)
貸付金	0	0	0	
長期借入金償還金	0	0	0	
国立大学財務・経営センター施設費納付金	0	0	0	
計	6,565	6,501	64	
収入 - 支出	0	395	395	

## 予算と決算の差異について

- (注 1) 補助金等収入については、獲得額の増加により、予算金額に比して決算金額が12百万円多額となっています。
- (注 2) 授業料、入学金及び検定料収入については、在籍者、入学者及び入学志願者が増加、または免除申請額の減少により、予算金額に比して決算金額が44百万円多額となっています。
- (注 3) 雑収入については、主として特許出願補填経費、JICA人件費補填経費等の増、予算段階で補助金間接経費を産学連携等研究収入で計上したことにより、予算金額に比して決算金額が64百万円多額となっています。
- (注 4) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、予算段階では予定していなかった国からの受託研究の獲得に努めたことにより、予算金額に比して決算金額が212百万円多額となっています。
- (注 5) 教育研究費については、外部資金間接経費の増加及び経費の節減に努めたため、予算金額に比して決算金額が149百万円少額となっています。
- (注 6) 一般管理費については、外部資金間接経費の増加及び経費の節減に努めたため、予算金額に比して決算金額が52百万円少額となっています。
- (注 7) 補助金等については、(注3)に示した理由により、予算金額に比して決算金額が12百万円多額となっています。
- (注 8) 産学連携等研究経費及び寄附金事業経費等については、予算額には継続分収入が含まれていないが、決算額には含まれていることや資金獲得に努めたことにより、予算金額に比して決算金額が125百万円多額となっています。

## 損益計算書との集計区分の相違について

- (1) 業務費の教育研究経費には、損益計算書の教育経費、研究経費及び教育研究支援経費が含まれ、寄附金を財源とする費用は含まれていません。
- (2) 損益計算書の役員人件費は、業務費の一般管理費に含まれ、教員人件費及び職員人件費は、業務費の教育研究経費、一般管理費、産学連携等研究経費及び寄附金事業費等にそれぞれ含まれています。